

well-beingのための各種セミナー(有料)のご案内

従業員の方々のwell-being向上をお手伝いすべく、企業さま向けに各種セミナーを取り揃えてご提案しています。講師は、メディアでお馴染みのエコノミスト・研究員、社会保険労務士、FP、キャリアコンサルタント、保健師などの専門家が務めます。形態も、会場での対面型からオンライン配信あるいはそれらの混合型までご要望に応じることが可能です。右の当社HPよりお気軽にご相談ください。

第一生命経済研究所 お問い合わせ

検索



<https://www.dlri.co.jp/contact/index.html>

カテゴリ	メニュー	内容と特徴
マネーデザイン	公的年金	公的年金について解説するとともに、参加者一人ひとりの公的年金受給額を具体的に確認します。働いた場合の公的年金の変化や雇用保険、繰上げ受給・繰下げ受給、遺族年金等についてもお伝えします。
	家庭経済	老後資金について、具体的な収支を見通すことにより、不安の軽減につなげます。企業さま独自の制度内容を反映しながら、従業員それぞれの課題を解決するセミナーです。
	資産形成・運用	「老後に備えた資産形成・運用」「金融リテラシー（知識・判断力）向上」に資するプログラムを中立的な専門家の立場で提供します。
金融リテラシー	経済見通し	国内外の経済動向について、メディア出演多数の著名エコノミストが分かりやすく解説します。
	金融経済の基礎知識	経済指標の読み方や株価・金利の見方、最新の経済ニュースの解説など「今さら聞けない」経済・金融の基礎知識を、エコノミストが初歩から分かりやすく解説します。
キャリアデザイン	タイムデザイン（生きがい）	退職後の「新たなライフステージ」を、どう生きがいを持って過ごしていくか考えていただくセミナーです。
	キャリアデザイン	従業員自身それぞれが自らのキャリアを考え目的を持って実行していく。そのきっかけとなるセミナーです。特に中堅以上の従業員の方にお勧めです。
	コーチング力（基礎編）	1on1 ミーティングに不可欠なコーチングの基礎が学べます。「傾聴力」「質問力」を強化する実践的なトレーニングをお伝えします。
社会・暮らし・つながり	ライフデザイン	ウェルビーイング、働き方、地域、家族、消費、高齢化、ユニバーサル社会など、時代の変化に伴う暮らしのあり方や方向性について各分野専門の研究員が最新情報をご提供します。
	テクノロジー・DX	最新テクノロジーやDXの動向などについて、専門の研究員が利用者の目線も交えながらわかりやすく解説します。
ヘルスデザイン	健康	健康保険分野の専門家である「保健師」が、病気の予防や早期発見の方法、健康を維持する方法について、わかりやすくお話しします。
	食	食の分野の専門家である「管理栄養士」が、健康のための食事方法について実例を添えてお話しします。
	介護	介護の専門家である「ケアマネジャー」が、介護の負担軽減のための社会保障制度の利用方法や、認知症についてお話しします。
	職場のメンタルヘルス	メンタルヘルスやカウンセリングの専門家である「産業カウンセラー」が、職場でも実践できる方法についてお話しします。

編集後記

日銀による12月のサプライズYCC変動幅拡大を受けて俄然注目の集まった1月の金融政策決定会合だったが、一部で期待された政策変更はなかった。

2022年はインフレの高進に伴い海外の中銀が挙って利上げに動く中、早晩日銀も政策変更にかざるを得ないはず、というシナリオで夏場から外国人投資家中心に債券ショートポジションを積み上げる動きが目立っていた。日銀は0.25%の固定金利オペを連発、日本の債券先物取引の仕組みもよく理解していないような新参者も巻き込み、“ざわざわ”していたところに12月の突然のYCC変更で火に油が注がれ、政策変更あり?と思わせるような記事も出て1月会合に向けては或る意味“お祭り”状態だった。

1月18日の決定会合では事前に想定されていたようなYCC撤廃、柔軟性拡大といった“タカ派”転換でもなく、かと言って“まったくの現状維持”でもなく、共通担保オペの拡大という“追加緩和”が決定された。共通担保オペの拡大は追加緩和策として何度か市場ではあげられていたものだがそこまでやったら市場への介入が過ぎるし、やるなら逆にリーマンショック時のように市場が何らかのショックで機能不全に陥っているような状態で中央銀行が最後の流動性供給先として期待されているようなときにこそやるべきものと捉えられていた。

12月の決定を受けて指値オペは2年、5年、20年でもオファーされるようになり、今や国債イールドカーブは官製カーブと言っても良いぐらい。日銀の12月末国債保有比率は固定利付債の残存10年以下では73.2%、全体では52.3%。今回の共通担保オペの拡大でスワップマーケットでも日銀の影響力は高まるだろう。ますます“金利が市場で決まらない”国になってきている。(H.S)